

〔国際会議開催〕

申請者	東北大学 流体科学研究所 教授 高木 敏行	2185006
国際会議名称	第 4 回保全科学と保全技術に関する国際会議 The fourth International Conference on Maintenance Science and Technology	
開催期間	2018 年 10 月 23 日～10 月 26 日	
開催場所	東北大学片平さくらホール (仙台市青葉区)	
申請者の役割	国内組織委員会委員長	

概 要 :

保全科学とは、システムを安全に保つための材料科学、設備診断、情報工学、人間工学、等の学問分野の融合領域であり、大型構造物やプラントシステムの安全確保と安全運用に重要な学問分野である。保全科学と保全技術に関する国際会議は、保全科学に関する国際会議であり、保全科学と保全工学に関する研究開発の発表がなされ、世界の最新の技術動向について議論を行う。第 4 回保全科学と保全技術に関する国際会議 (The 4th International Conference on Maintenance Science and Technology, ICMST-Tohoku 2018) は、2018 年 10 月 23 日より 26 日までの 4 日間、東北大学片平キャンパスにおいて、ICMST-Tohoku 2018 国内組織委員会の主催、日本保全学会、東北大学流体科学研究所、東北大学原子炉廃止措置基盤研究センター、日本保全学会東北・北海道支部の共催により開催され、保全科学、AI/IoT 技術、保全エンジニアリング、保全社会、などについて、最新の知見の情報交換が行われた。

会議には 9ヶ国 (日本、中国、台湾、フランス、米国、ドイツ、韓国、ロシア、イギリス) から 209 名の参加を頂いた。また、23 日から 25 日までの 3 日間に、保全科学・技術に関連する多数の講演 (基調講演 4 件、招待講演 9 件、パネルセッションにおける講演 3 件、口頭発表 77 件、ポスター発表 8 件) がなされた他、企業展示では、9 ブース (10 機関) が出展され活発な議論が行われた。これらの講演などを通して、世界的にみてユニークな学問分野である「保全科学」を世界に向けて発信できた。